

毎月の給与でできる財産形成と保険のご紹介



大和証券グループには、住宅、安全保障(保険)、育児・介護、財産形成、健康サポート、レジャー、社内コミュニケーション、互助会等の各分野において、たいへん多くの充実した福利厚生制度があり、それぞれの制度については、入社後に社内研修等で説明があります。今回は、このうち、給与天引きでできる財産形成、安全保障(保険)に関する制度の一部をご紹介します。

💡 給与天引きで無理なく

財産形成

会社からの奨励金がうれしい!

自社株で働くモチベーションアップ

【大和持株会】

大和証券グループ本社株に継続的に投資します。

- 給与天引きにより、少額の資金から無理のない投資ができます。
- 積立額に10%～12%の奨励金が支給されます。
- ドルコスト平均法*の効果が享受できます。
- 配当金は再投資します。

NISA (少額投資非課税制度) にも奨励金

【職場つみたて NISA】

財産作りの制度として「職場つみたて NISA」があります。

- 給与天引きにより、少額の資金から無理のない投資ができます。
- 積立額に対して5%の奨励金が支給されます。
- ドルコスト平均法*の効果が享受できます。
- 特に少額からの長期・積立・分散投資を支援するための非課税制度です。

*ドルコスト平均法とは、価格が変動する商品に対して、定期的に一定額を購入する投資方法です。これにより、価格が高い時は少なく、安い時は多く購入することになり、平均すると購入価格を安くする効果が期待できます。

✎ 給与天引きで年末調整も手間なく

保険

スケールメリットで割引がうれしい!

万一の場合の生命保険

【従業員グループ保険】

生命保険、介護保険、3大疾病保険があります。

- 危険業種ではない従業員や家族のみの加入なので、保険料が非常に安くなっています。
- 支払われなかった保険料も配当金として戻りますので、更に割安です。(3大疾病除く)
- 1年定期の保険なので、ライフステージに合わせて保障額を変更できます。

ケガ、熱中症、自転車など様々な生活リスクに

【団体保険 (団体総合生活補償保険)】

ケガに備える保険は最大43.75%割引(2024年度)、疾病や所得補償など様々なタイプが用意されています。

- 熱中症、自転車保険や他人にけがをさせた時の補償など様々なオプションもあります。
- 本人だけでなく、家族の補償プランもあります。
- 1年更新の保険ですが、補償内容は毎月21日付で変更が可能です。



バランスが大事!

不慮の出費の際に、泣く泣く不利な条件で資産を売却しなくてはならないということのないように、保険との組み合わせもバランスよく考えていきましょう!



財産形成

大和持株会、職場つみたて NISA の他にも以下のような給与天引きによる財産形成制度があります。

【主な財産形成制度】

- 大和持株会
会員募集：6月（7月給与より天引き開始）
- 職場つみたて NISA
申込時期：10月～11月
- 財形貯蓄
受付：随時
- マッチング拠出（確定拠出年金）
申込時期：6月頃
「マッチング拠出」は、確定拠出年金（401k）において事業主が拠出する掛け金に上乗せして従業員も自ら掛金を拠出し、積み立てることが出来る制度です。

財産形成制度については、入社後の社内ポータルサイト等で確認できます。

NISA（少額投資非課税制度）については、大和証券のホームページでご確認ください。



二次元コードは大和証券の「NISA」のページです。

大和証券ファシリティーズ

Daiwa Facilities

入社後の保険についてご質問等がある場合は、以下のお問い合わせフォームより、大和証券グループ内定者であることを記載の上、お問い合わせください。

お問い合わせフォーム



大和証券ファシリティーズ（株）
保険事業部

保険

大和証券グループ役職員向けの保険を取り扱っています。

団体のスケールメリットで割安な保険料となっています

大和証券グループ
役職員専用 WEB



二次元コードは大和証券グループ役職員専用 WEB の「2025年度入社新入社員の皆様へ」のページです。

【入社後】

社内研修の中で、福利厚生制度の保険についての説明があります。

【提供保険】

従業員グループ保険

団体保険

表面をご参照ください。

医療・がん保険

高額療養費制度の利用を前提として、月ごとの自己負担額に備える治療費と、日ごとに発生する入院・通院等の諸経費や、がん治療の実態に合わせた幅広い保障にも備えられます。

自動車保険

火災保険

団体割引が適用されます。

（自動車保険、火災保険は説明会では詳しく触れないので、ご希望の場合はお問合せください）

✎ 給与天引きのメリットについて

・生命保険を契約された場合、保険料を給与天引きにすると団体料率が適用され、**約2%前後保険料が安くなります。**

（保険会社や保険種類によっては給与天引き出来ない場合もあります。）

・自動的に年末調整で保険料控除申請されます。（保険料控除申請の手間や失念がありません。）